

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	精度管理学2		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	前期 土曜日3.4限	教室名	901 902
担 当 教 員	高比良 直也	実務経験と その関連資格	近畿大学奈良病院に臨床検査技師として勤務。主業務は生理機能検査全般。			
《授業科目における学習内容》						
臨床検査および臨床検査技師として必要な検査管理学の基礎や方法について履修し、検査管理の知識を習得する。						
《成績評価の方法と基準》						
科目履修後、テストにて採点。テストで6割以上正答で合格とする。出席率も加味する。企業研修レポートも評価の対象とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書の使用は特に必要なし。可能であれば、最新 臨床検査学講座 検査総合管理学を準備する。						
《授業外における学習方法》						
授業終了後からテストまでに復習しておくこと。専門用語の意味を理解しておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
授業中に居眠りをせずに聴講すること。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床検査技師の役割について理解できるようになる。	主にスライドで講義 最新 臨床検査学講座 検査総合管理学	特になし	
		各コマにおける授業予定	臨床検査技師の役割、法律的な観点から見た位置づけ、チーム医療			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	診療機関等での臨床検査技師の働きについて理解できるようになる。	主にスライドで講義 最新 臨床検査学講座 検査総合管理学	特になし	
		各コマにおける授業予定	検査部門の体制、管理と運営			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	検査精度管理の基礎を理解できるようになる。	主にスライドで講義 最新 臨床検査学講座 検査総合管理学	特になし	
		各コマにおける授業予定	精度管理に必要な用語、精度管理に必要な統計学の基礎、内部精度管理			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	検査精度管理の基礎を理解できるようになる。	主にスライドで講義 最新 臨床検査学講座 検査総合管理学	特になし	
		各コマにおける授業予定	内部精度管理、外部精度管理			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	検査結果の評価について理解できるようになる。	主にスライドで講義 最新 臨床検査学講座 検査総合管理学	特になし	
		各コマにおける授業予定	基準範囲、極端値、パニック値、臨床判断値、臨床学的有用性			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 現状の臨床検査技師の業務について理解できるようになる。。	主にスライドで講義 最新 臨床検査学講座 検査総合管理学	特になし
	各コマにおける授業予定	検体採取の実態、タスク・シフト/シェアについて		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 臨床検査技師の作業や危機管理について理解する。	主にスライドで講義 最新 臨床検査学講座 検査総合管理学	特になし
	各コマにおける授業予定	マニュアル作成、インシデントおよびアクシデントについて		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 臨床検査技師における検査管理について説明できる。	主にスライドで講義 最新 臨床検査学講座 検査総合管理学	特になし
	各コマにおける授業予定	検査管理学の総合的な演習問題を行い、理解する。		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標 企業研修を通じ、自身の将来像を明確化できるようになる。	配付資料	特になし
	各コマにおける授業予定	企業研修(シスメックス ラボ見学)		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標 企業研修を通じ、自身の将来像を明確化できるようになる。	配付資料	特になし
	各コマにおける授業予定	企業研修(シスメックス ラボ見学)		
第11回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第12回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第13回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第14回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第15回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			